

2021年度版 中部リサイクル株式会社 環境活動レポート

<環境に関する経営理念・方針>

中部リサイクルは廃棄物から再資源化物を製造するゼロエミッションの事業を通し、企業としての社会的責任を遂行するとともに、品質・環境の維持・向上に不断の努力を行うことを基本理念とする。

<事業所の概要>

①事業所名：中部リサイクル株式会社

②所在地：愛知県名古屋港区昭和町18番地

③事業の内容：焼却場から発生する焼却灰及び焼却飛灰を、電気抵抗炉等を用いて分離・精錬・清浄処理して無害化、主に発生する熔融還元炉(再生石材)は路盤材・景観用石材・河川護岸保護工事資材などに利用され、回収される有価金属は精錬工場にて金属精錬原料として利用されています。
受け入れる廃棄物は、排ガス又は排水として系外に放出されるものを除き、全量を再生資材として利用されるゼロエミッションを達成しています。

④従業員数：56名

⑤担当者氏名：亀井 一輝

⑥環境責任者氏名：松島 功明

環境に配慮した取組の状況

1 目標と実績

(1) 目標

エネルギー原単位：前年度比 1%削減

(2) 実績

	基準年度(平成 23 年度)	昨年度 (令和 2 年度)	削減率
エネルギー原単位	0. 2300kl/t	0. 1922kl/t	16. 44%

2 具体的な取組内容

- ・ 電気溶融炉運転方法の改善
- ・ 変圧器容量の適正化と高効率製品への更新
- ・ コークス使用量削減
- ・ 構内照明の LED 化
- ・ 建屋内照明の不要照明電力の削減

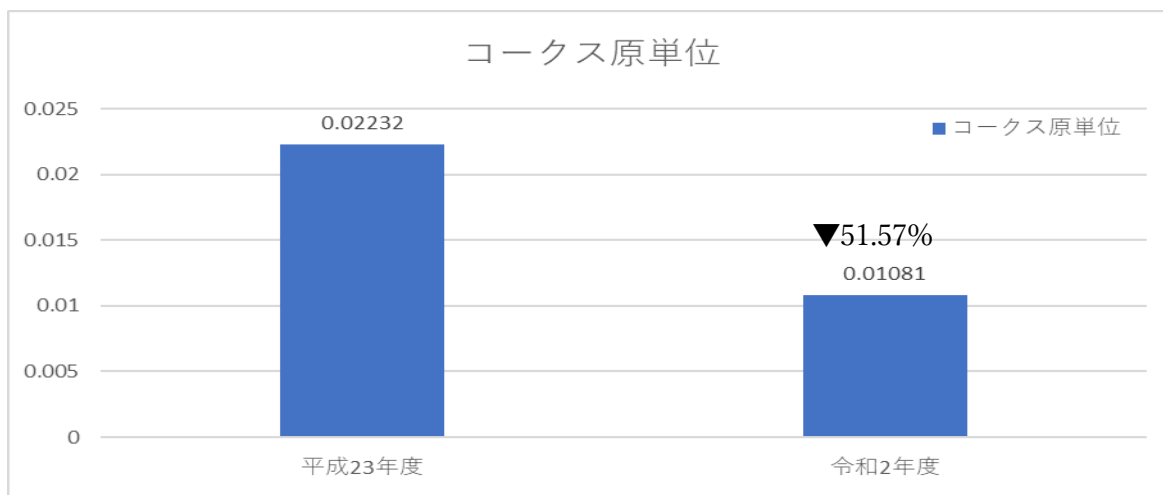
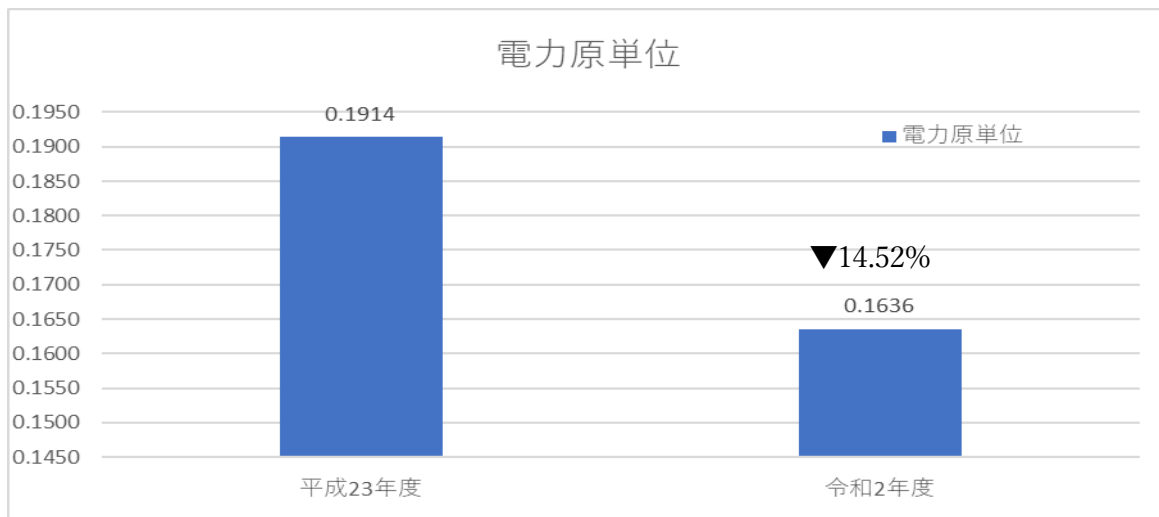
3 目標の達成状況

基準年度に対し、昨年度は 16. 44%削減できている。

具体的な取組内容	成果
電気溶融炉運転方法の改善	従業員の省エネに対する意識を高める教育を継続して行うことで、電気炉運転の人の手による操業を改善した。
変圧器容量の適正化と高効率製品への更新	老朽化した設備を最新のトッランナー製品にしたことで、電力使用量の削減を実現した。
コークス使用量削減	従業員の省エネに対する意識を高める教育を継続して行うことで、電気炉運転の人の手による操業を改善した。
構内照明の LED 化	蛍光灯を LED に変更した。
建屋内照明の不要照明電力の削減	作業環境の照度として問題ない部分の照明を間引いた。

エネルギー原単位の削減

	基準年度(平成 23 年度)	昨年度(令和 2 年度)	削減率	
処理量	25, 387t	35, 499t	/	
電力原単位	0. 1914kl/t	0. 1636kl/t		14. 52%
コークス原単位	0. 02232kl/t	0. 01081kl/t		51. 57%



4 新たな目標設定

1. 電気溶融炉運転方法の改善及びコークス使用量削減

今後も定期的に、従業員の省エネに対する意識を高める教育を行い、電気溶融炉運転の人の手による操業を改善する。

2. その他操業改善による電気使用量削減

操業手法を改善することで作業効率を上げ、作業時間を削減することで電気使用量削減を狙う。

お問い合わせ先

中部リサイクル株式会社

住所：名古屋市港区昭和町 18 番地 担当：亀井一輝

電話：090-8136-5623 FAX：052-614-0716

E-mail：k.kamei@chubu-recycle.co.jp

※当社の取組を詳しくお知りになりたい方は、当社ホームページをご覧ください。

<https://www.chubu-recycle.co.jp/>